

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 南 賢治

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 8 年 第 1 回 武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 令和 8 年度 予算について	<p>【趣旨説明】</p> <p>財調が枯渇するという考え方で、全体にシーリングをかけたと思われ ますが、予算説明会において、令和 7 年度とほぼ変わらない一般会計、歳 入歳出が出てまいりました、新規事業では、シーリングをかけ、出てきた お金を、鳥羽町長の選挙公約に関連する事業にあてたのかと思われる予 算が、多くみられます、その中にはバラマキとも思われる事業もありま す。数点ありますが、時間の都合上、以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①総務管理費委託金で、いじめ解消モデル事業委託金 3 6 万 5 千円を計 上していますが、教育委員会管轄ではなぜダメなのですか？ ・町長部局でやらなければならない理由がよくわかりません。 ・教育委員会にこの予算 1 0 分の 1 0 を上げて、現状を強化すべきと考 えますが、行政職員にはそんなに素晴らしい人材がいるのでしょうか。</p> <p>②商工振興費においても、5 3 5 万 4 千円ほど減らされていますが、その 詳細と根拠を教えてください。また観光事業費も金額こそ少ないが、1 4 万 3 千円ほど減らされています。詳細と算定根拠を教えてください。</p> <p>③中学校制服等入学祝い金 7 5 0 万、3 7 5 人分だが、生活困窮者の入学 祝い金ならともかく、裕福な家庭も生活困窮者の家庭も均一はおかし いと思うが、裕福な家庭も生活困窮者も一律にした理由は。</p> <p>④消防団、区長、民生委員の視察を無くしたとのことが、多くの方より 不満を聞いている。行政に協力していただいている方への理解が足り ないのではないかと？無くした根拠と理解に対する考え方は。</p> <p>⑤スポーツ協会補助金 5 万 9 千円減になっているが、間違いではないか？ 各協会に提示された金額合計と予算の金額があっていない理由。</p>

2. 防災対策について

【趣旨説明】

昨今ゲリラ豪雨や線状降水帯など、地球温暖化による異常気象が日本全国あちらこちらで増えております。一昔前は、田畑、ため池、森林が広がり、降った雨をしみ込ませたり、貯めたりする自然の機能がありました。都市化が進み市街地では、地表がコンクリートやアスファルトなどで覆われ雨はしみ込む場所を失い、大雨が降ると、雨のほとんどが直接下水道や河川に流れ出るようになってきています。このため、大雨が降ると、下水道や河川的能力を超えた雨水が道路などにあふれやすくなっています。

名古屋市では、降った雨を地中にしみ込ませたり、貯めたりすることで、下水道や河川に流れ出る雨の量を減らし、浸水への安全度を向上させるとともに、豊かで健全な水循環を復活させるため、雨水流出抑制を推進しています。雨水流出抑制とは、雨水を地中にしみ込ませたり一時的に貯めたりすることを言います。

雨水流出抑制設備には、浸透雨水ます、穴あき埋設管、透水性舗装、雨水タンクなどがあります。

浸水対策としては、皆様の敷地などから下水道や河川に雨水が流れ出すのを、少しでも減らすか遅らせることが大事です。

また、雨水の浸透により地下水が保たれます。これにより水循環機能が回復し土中水分の蒸発作用よりヒートアイランド現象の緩和などが期待できます。

雨水タンクにおいては、散水や、地震や災害の際の停電などで、水道が止まった時など、使用後の浄化槽を流す水として利用できます。

町内においても、地下に貯水槽やあちらこちらに調整池があることは承知しています。しかし近年では予想を超えた未曾有の災害が増えています。震災で停電、水道が止まっても、便所さえ使える状態であれば、流す水は、雨水のため水で十分と考えます。まもなく雨多き季節がやってきます。家の外にぜひ雨水のため水タンクが欲しい声も多く聞きます。

又、防災倉庫についてですが

資料、ちょっと古いですが、国土交通省の発表によると、1994年から2003年の10年間に、日本全土の97%で水害や土砂災害が起きています。

「南海トラフ巨大地震」「首都直下地震」が30年以内には、70%以上の確率で起こるとも予想されています。万が一の災害に備え、防災用品を詰め込んだバックを用意している方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。でもそれだけで安心するのは、もはや不十分かもしれません。もし家が倒壊してしまってバックを持ち出せなくなってしまうたらどうでしょう？

崩れた土砂や倒壊した建物で避難場所への道をふさがれてしまったらどうでしょう？防災用品を保管する防災倉庫を自宅の敷地内に設置していれば、より安全に自分や家族たちの大切な命を守れるかもしれません。小さな倉庫で構いません、入れる優先順位は、各家庭によって違いますが、①飲料水・食料②生理用品・医薬品・トイレ袋③熱源・調理器具④衣類・寝具⑤電源・燃料⑥工具・救助用具などが考えられます。命を維持するための基本的な物資を優先し段階的に生活の安定に必要なものを備蓄していくことが大事です。

倉庫本体は、小さなものから大きなものまでありますが、10,000円くらいからあります。

そんなことを含め以下質問します。

【質問事項】

- ① 名古屋市のように、いっぺんに降った雨を各家庭で、少しでも貯められるよう、雨水タンクの助成はできないか。
- ② 趣旨説明で述べたように、各家庭に防災倉庫（中身は別）を設置するための助成はできないものか。
- ③ 中央公園は、防災時の拠点となっています。日常ではいろんなイベントも多く行われています。しかし、便所の数がとても少ないのは皆さまも感じているところと思います。
イベントでは、仮設便所を設置すればよいのだろうが、いざ災害があった時、今の数では、大変なことになると考えます。東西南北、あるいは東西に増設すべきと考えます。必要ではないでしょうか。